

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和3年度)

施設 の 名 称	宮城県宮城野原公園総合運動場
指 定 管 理 者 の 名 称	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
施 設 所 管 部 課 (室)	企画部スポーツ振興課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ	
平成29年 4月 ~ 令和4年 3月	指定管理者	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
	所在地	仙台市青葉区錦町一丁目3-9
指 定 期 間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県宮城野原公園総合運動場	
所 在 地	宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11-6	
設 置 年 月	昭和25年4月	
根 拠 条 例 等	県立都市公園条例	
設 置 目 的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	154, 156. 77㎡
	構 造	宮城テニスコート:クラブハウス 鉄骨造2階建, 宮城相撲場:鉄筋コンクリート造平屋建
	内 容	テニスコート(人工芝10面) 相撲場
開 館 (所) 日	年末年始(12/29~翌1/3日迄)及び施設点検日, 11/29, 12/28, 1/4 を除く毎日	
開 館 (所) 時 間	夏時間 4月1日~10月31日まで 8:00~19:00 冬時間 11月1日~3月31日まで 8:00~18:00 その他 土曜日・日曜日・祝祭日 8:00~17:00	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1 本施設の管理運營業務 2 本施設の利用許可に関する業務 3 本施設の利用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 本施設の行為の許可に関する業務 5 本施設の機械設備の操作・日常点検業務 6 本施設の施設・設備, 物品及び敷地の維持管理業務 7 その他本施設の管理運營業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	施設利用料, 行為許可使用料(独占利用料含む)

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前年度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
開館(所)日数	356 日	297 日	356 日	100.0%	119.9%
延べ利用者数	53,130 人	40,568 人	51,145 人	96.3%	126.1%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前年度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
宮城テニスコート	52,550 人	40,050 人	50,009 人	95.2%	124.9%
宮城相撲場	630 人	4 人	152 人	24.1%	3800.0%
公園来場者(無料観客・見学・公園)	0 人	514 人	984 人	#DIV/0!	191.4%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	53,180 人	40,568 人	51,145 人	96.2%	126.1%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前年度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
県指定管理料	14,361	14,361	14,361	100.0%	100.0%
利用料金収入	9,513	7,848	10,815	113.7%	137.8%
その他	887	7,161	8,420	949.3%	117.6%
収入計 (a)	24,761	29,370	33,596	135.7%	114.4%

(2) 支出

人件費	9,726	15,861	15,909	163.6%	100.3%
施設管理費	13,317	13,334	17,520	131.6%	131.4%
事業運営費	505	175	167	33.1%	95.4%
その他	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	23,548	29,370	33,596	142.7%	114.4%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	1,213	0	0	0.0%	#DIV/0!
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和3年度) (A)	前 年 度 (令和2年度) (B)	評価対象年度 (令和3年度) (C)		
事業費	44	75	0	0.0%	0.0%
参加料収入	461	100	226	49.0%	226.0%
収入計 (a)	505	175	226	44.8%	129.1%

(2) 支出

人件費	336	112	112	33.3%	100.0%
施設管理費	30	52	35	116.7%	67.3%
事業運営費	139	11	20	14.4%	181.8%
その他	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	505	175	167	33.1%	95.4%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	59	#DIV/0!	#DIV/0!
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額		0		#DIV/0!	#DIV/0!

6. 評価対象年度(令和3年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<p>○新たに副場長職を配置し運営体制を強化すると同時に設備保守点検や修繕対応の充実も図った。</p> <p>○事務分掌により施設における業務について役割を分担し、職責を明確にした管理運営体制を構築した。</p> <p>○スポーツ施設管理士、トレーニング指導士等の公認有資格者を配置し、研修で習得した知識を生かした運営を心がけた。</p>		<p>○施設職員の勤務はシフト制の変則勤務にしている。場長と副場長の責任者2名体制にしたことにより、職員の安心感が増し危機管理対応にも迅速に対応できた。</p> <p>○事務分掌は、主担当者と副担当者を配置し、交代勤務でも事務処理が停滞しない運営体制を作った。</p> <p>○専門のスポーツ指導員は、県民からのスポーツ相談の対応や、スポーツ教室の企画運営等を実施した。</p>		S	<p>組織の位置づけを明確にし、各種事務の役割を分担するなど、組織全体で取り組む姿勢が見られた。また、研修で習得した知識を生かした運営を行うなど、職員の資質・能力向上に取り組んでいる。</p>	A
人員体制	正規 9人	非正規 2人					
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>○設備等の保守点検は一年間のスケジュールを立てて計画的に実施した。</p> <p>○職員による点検と専門業者による保守点検・法定検査等を実施した。</p> <p>○施設の状況等については、宮城県と情報を共有しながら維持管理に努めた。</p>		<p>○開館中は、職員による巡回や日常点検を毎日実施した。巡回に合わせて、ドアノブや手すり等の共用部分やネット巻き等の消毒も実施し、感染症拡大予防に努めた。</p> <p>○施設設備等の不具合を発見した場合には、県に遅滞なく報告した。また、その場の応急対応や補修等を実施した。</p>		A	<p>職員の日常的な保守点検などにより、修繕箇所や異常箇所の早期発見に努めている。また、新型コロナウイルス感染症対策についても、適切に行われている。</p>	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>○当施設ホームページトップ画面に「テニスコート空き状況」画面を設けた。</p> <p>○テニス一般利用申込については抽選制とし、公平な活動機会を提供した。</p> <p>○使用時間を前延長し、テニス早朝一般利用を実施した。</p> <p>○感染症予防措置で外出自粛している方等のために、当施設スタッフによるテニスレッスン動画を作成し配信した。</p>		<p>○コートの予約が入ると、その都度、職員が予約状況を更新するため、常に最新の情報を提供できた。</p> <p>○早朝テニスは、主に勤労者等が出動前に運動できる機会を提供したことにより、早起きで健康的な生活スタイルが送れるようになったと好評を得た。</p> <p>○YouTubeに「0から分かるテニス教室」をアップしフリーで視聴できるようにした。</p>		S	<p>主要施設であるテニスコートについて、ホームページ上で最新の予約状況を提供するなど、利用者のニーズに応じた運営を行っている。また、テニスコートの早朝一般利用を行うなど、利用者の利便性向上に努め、利用者の拡大に向けた取組を実施している。</p>	S
④自主事業の実施	<p>○初心者テニス教室(一般)を前期「5月～7月」と後期「9月～11月」の2期にわたり実施した。延べ参加者数240人。</p> <p>○テニス体験会を夏期「7月」に実施した。回数1回。参加者21人。</p> <p>○自主事業の開催にあたっては、宮城県の新型コロナウイルス感染対応にかかる要請や通知に基づいた対策を取りながら実施した。</p>		<p>○事業開催の広報は、SNS(施設ホームページ)や紙媒体(館内掲示、チラシ配布、河北ウイークリー等)を使い、ITが苦手な方にも配慮した。</p> <p>○感染症対策は、業種別、競技別のガイドライン等も参考にしながら、安全安心な受け入れ体制を構築した。コロナ禍であっても運動する機会を提供してくれたと感謝の言葉をいただいた。</p>		S	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、主に初心者を対象にしたテニス教室を開催することで、新規利用者の増加や生涯スポーツ活動の実施につながる取組を行っている。</p>	S
⑤利用者サービスの向上	<p>○外部研修の受講や内部研修を通して、職員の資質向上を図った。</p> <p>○接客研修をはじめ、コンプライアンス研修には特に力を入れて実施した。</p> <p>○事業団施設長会議では、他施設の取り組み事例等を紹介するなど、組織全体としてサービス向上に取り組んだ。</p>		<p>○対応する職員によって差が出ないよう、職員ミーティングや回覧、業務日誌等を活用した引継ぎメモなどで、利用者対応の共有化を図った。</p> <p>○事業団事務局へ直接届いたご意見についても参考にしながら、県民の目線に立って課題解決に取り組んだ。</p>		A	<p>ミーティングなどを行い、組織として一貫した対応を行えるよう工夫が見られる。また、必要な研修を行い、利用者サービスの向上に努めている。</p>	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<p>○ご意見箱を設置したり、利用者アンケートを実施したりするなど、苦情要望の抽出に努めた。</p> <p>○テニスコート抽選日等を活用し、テニス利用者と意見交換を行った。</p> <p>○いただいたご意見等は、事務室内で回覧したり、改善策について話し合い等を行った。</p>		<p>○テニスコート抽選会において、参加人数が多くなると時間がかかってしまうため、順番待ちや呼び出し方法等を工夫した結果、時間短縮が図れた。</p> <p>○投函されたご意見やアンケートの要望等は回答を場内に掲出した。</p> <p>○電話や窓口での口頭での意見についても、必要なものは場内掲出を行った。</p>		A	<p>各窓口で利用者の意見要望を聞く体制を整えている。また、把握した苦情・要望については検討のうえ、速やかな対応を実施している。</p>	A
⑦安全対策	<p>○職員による定期的な施設巡回を実施し不具合や危険箇所の早期発見に努めた。</p> <p>○避難訓練・消火訓練(年2回)の実施。</p> <p>○当事業団組織全体のBCPに基づいた組織全体での災害時対応訓練の実施(年2回)</p> <p>○心肺蘇生法・救急法研修(外部講師)の受講と伝達研修(OJT)を実施した。</p>		<p>○令和2年度に公園内に不法に投棄された自転車等を一斉撤去した。令和3年度も引き続き不法投棄の掃討に努めた。</p> <p>○3月16日に発生した震度5強の地震では、日頃の防災訓練やBCP訓練を活かし発生時や事後の対応がスムーズにできた。</p> <p>○赤十字ベシックライフサポーターの認定を受けた。万が一の事故等に備えた。</p>		S	<p>職員による定期的な施設巡回を行い、危険箇所の早期発見に努めている。3/16の地震発生時には日頃の訓練の成果を発揮し適切に対応できている。</p>	S
⑧県民の平等利用	<p>○テニスコートの利用において、抽選会を行ったり、予約回数等の制限を行ったりしながら、公平に利用できる仕組みを作った。</p> <p>○施設ホームページに「テニスコート空き状況」や「利用案内」を掲載するサービスを継続した。</p> <p>○スポーツ教室の募集にあたっては、原則として抽選を実施した。</p>		<p>○特定の団体や個人がテニスコートを独占予約しないように、一団体が一日に利用できる面数や時間を決めて、より多くの県民がテニス利用ができるように配慮した。</p> <p>○電話で問合せせなくても、パソコンやスマートフォン等で気軽に空き状況を検索できるので便利であると好評を得た。</p>		A	<p>年間利用調整及び抽選制度により、特定の団体等に偏った競技利用及び一般利用の防止に努めており、県民が平等に施設を利用できるよう配慮していることが認められる。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	○個人情報の収集にあたっては、利用目的を明記するなど、仙台市スポーツ振興事業団個人情報保護規程等に則り適正に取り扱った。 ○外部及び内部講師による「個人情報セキュリティ研修」を行った。 ○個人情報記載された書類(スポーツ教室申込書など)は鍵のかかるキャビネット等で保管している。	○個人情報保護だけでなく、情報セキュリティの適正な取り扱いについても職員全員で遵守に向けて取り組んだ。 ○個人情報は持ち出し禁止を徹底し、パソコンのワイヤーロックやデスクトップのパスワード設定、使用後のログアウトなどのセキュリティ対策を確認に実施した。 ○情報等は、個人ではなく組織として管理(NAS等で保存)した。	A	個人情報保護規程の遵守、職員研修の実施など、情報の漏洩等事故防止に努めている。	A
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり。	○利用人数は、テニスコート、相撲場ともに、事業計画には及ばなかったが、前年度実績を上回ることができた。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止等にかかるガイドライン等に則り、施設運営や利用者対応を行った。大会行事等では主催者と協力しながら感染症対策に取り組んだ。	S	テニスコート及び相撲場については、新型コロナウイルス感染症の影響が多くあった昨年に比べて利用者の増加が認められるが、計画した人数を達成できていない。特に相撲場においては、計画人数の1/4にも達していないことから、利用促進に向けた取り組みが必要である。	A
⑪収支実績	上記「5. 施設利用実績」のとおり。	○利用収入は、前年度収入(7,898,610円)を上回り、前年度比で約140%を達成できた。 ○利用人数と利用収入の増加は、感染症対策を徹底したことにより、お客様が安心して利用できる環境づくりができた成果と考えている。	S	新型コロナウイルス感染症の影響が多くあった前年度と比較すると、利用料収入が増加している。	S
⑫その他の取組	○楽天野球団と連携し公園全体を使った共催事業を積極的に企画した。 マラソン・駅伝大会・弟子入り体験等。 ○楽天ホームゲーム時の運用ほか公園全体の運営について意見交換会を実施した。 ○地域の小学校や児童館に指導員を派遣しスポーツ指導を行う「おでかけプログラム」を企画した	○今年度については「弟子入り体験」のみ実施した(参加553人)。その他は新型コロナウイルス感染防止のため開催自粛した。 ○楽天イーグルス花火大会等の開催に協力し施設貸出を行った。 ○新型コロナウイルス感染予防措置によりスポーツ指導員派遣も自粛した。 ○自粛中であってもスポーツに関りが持てるようなサービスを提供した。	S	楽天野球団との連携、各種イベント等への協力及び地域貢献活動など、公園全体の利活用の促進に向けた取組を行っていた。	A
総合評価		○コロナ禍において、実施できなかった事業もあったが、感染対策をしっかりと行いながら、事業計画に沿って安全安心な管理運営を行うことができた。 ○隣接する楽天野球団とは、公園管理等について意見交換したり自主事業を共催したりするなど協力しながら施設運営ができた。	S	事業計画に掲げた業務・事業を確実に履行しているほか、テニスコートの早朝利用など、利用者ニーズに応えながら柔軟な運営を行っている。 令和3年度は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があったが、ともに公園を管理する楽天野球団と連携を図りながら適切な施設運営を実施している。	S

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	【テニスコート】 土日は利用希望者が多いので、17時以降の時間延長について検討していきたい。 【相撲場】 土俵の東屋は劣化が進んでいるので全面改修の必要がある。 【公園全体】 ○井水系統(トイレ・散水で利用)は経年劣化や機能不足が発生しており更新が必要である。	修繕については他施設の修繕計画等を見極めながら対応を検討していく。 また、当施設についてはスポーツ施設利用者以外の公園利用者やプロ野球観戦者等が多数来所することから、近隣関係施設・関係機関との連携を密にし、引き続き、公園全体の利用者の安全に配慮しながら管理運営を行っていく必要がある。